

直売所研修会を開催しました

平成 24 年 7 月 31 日直売所研修会を開催しました。佐久管内の直売所の運営管理者等 40 名程が出席し、農産物の適正な表示方法と運営方法について学びました。

農産物の適正な表示については、農林水産省関東農政局長野地域センター消費・安全グループ表示・規格指導官の川島氏、高橋氏より、法律・制度について、JAS法にかかわる表示、有機JAS、特別栽培ガイドライン、米トレサンビリティ等について説明がされました。また、直売所を巡回して表示調査を行っていることや、消費者からの連絡により調査をすること、表示違反があった場合は、消費者にわかるように広告しなければならないことなどが伝えられました。

直売所の運営方法については、上田市丸子農産物直売加工センターあさつゆの伊藤良夫組合長より事例発表がされました。

住民運動により、直売所の設立を要望しできあがったこと。設立から 8 年が経過し、生産者の自由度を高め、権限を持たせたこと、毎月震災支援として売上金で野菜を半額で買い上げ、被災地に送り喜ばれていること、イベントを開催して、組合員を動かし、集客を図り、売上を伸ばしていること、出荷品目数が多いほど直売所の魅力度があがることなど話をされ、直売事業にかける情熱に参加者は感動を与えられました。

また、普及センターより、環境を配慮した生産者として、エコファーマーの取得方法について説明をしました。

この研修会で聞いたことを組合員へ伝えていただき、直売所の活性化へつなげていただきたいと思います。



上杉普及センター所長あいさつ



農林省担当者による表示の説明



あさつゆ伊藤良夫組合長による事例発表



戸沢普及員によるエコファーマーの説明